



2007年7月6日 第2007-56号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】政策政治グループ

03-3451-2425

E-MAIL : seisaku.seiji@jam-union.jp

## 第166通常国会閉幕

与野党逆転めざし参議院選挙に全力投球だ！

7月5日、第166回通常国会は12日間の延長を含めた162日間の会期を終えて閉会しました。安倍総理は、総理として初めて臨む国会で、「美しい国」づくりを掲げて、教育関連三法や国民投票法を最優先に審議を行い成立させました。後半国会では、参議院での審議時間を確保するため強引に会期を延長してまで、改正国家公務員法及び社会保険庁改革関連法を強行採決で成立させています。

今国会は、委員長職権での委員会開催や強行による法案採決が国会史上類を見ないほど連発されました。政府が新規提出した法案は97本、そのうち89本が成立し、法案成立率は91.8%。

### 労働三法は継続審議に

今国会は「労働国会」といわれるほど、労働関係の法案が数多く審議されました。このうち、連合が重点課題にあげた「改正パート労働法」「雇用保険法」「雇用対策法」「地域産業活性化法」「中小企業地域資源活用促進法」「改正産業活力再生特別措置法」が成立。労働三法案(労働契約法、労働基準法改正案、最低賃金法改正案)、年金一元化法案は継続審議となりました。

他に、改正配偶者暴力(DV)防止法、改正公職選挙法、改正政治資金規正等、改正イラク特措法及び米軍再編法が成立。社会福祉士・介護福祉士法改正案、組織犯罪処罰法(共謀罪)改正法案、安全保障会議設置法改正案、地方公務員法改正案等は継続審議となります。

### JAMの今泉昭議員勇退

また、28日に任期の切れる参議院議員のうち36人が今限りで引退。JAMの組織内議員であり、参議院副議長を務めた、今泉昭議員も勇退されます。長い間ありがとうございました。

### 小沢代表与野党逆転に全力

民主党は、国会閉会にあたって両院議員総会を開催。あいさつにたった小沢代表は、「衆参

同僚の議員の熱心な活躍により、小泉政権・安倍政権のでたらめな政治、国民の生活を全く軽視した政治を浮き彫りした」と各議員の活躍に敬意を表明し、「参議院選挙に向けて、一瀉千里みんなで全力投球し、民主党勝利に向けて頑張っていく。国民の皆さんの理解を受けて参議院での与野党逆転、過半数獲得の目標に向けて全力で頑張る」と述べました。

### 連合：与党の強引な国会を厳しく批判

連合は、国会閉幕にあたって古賀事務局長が談話を発表。「今国会で与党は、多くの重要法案で強行採決を連発した。『消えた年金記録』の全容解明や責任の所在を明らかにしないままの強行採決だ。国民生活に深く関わる重要法案について十分に審議を深めることなく、参院選に向けた実績づくりのために、次々と強行採決によって成立させた安倍内閣の責任は重大。その強引な国会運営は議会制民主主義の根幹を揺るがした」と厳しく批判しています。

また、労働国会といわれながら、閣僚の自殺者まで出した「政治とカネ」問題と「消えた年金」問題が終盤の大きな争点となったことについて、「労働三法は審議不十分なまま継続審議となった。特に最低賃金法が与野党の党利党略のため継続審議となったことは、低所得勤労者の期待に応えられず甚だ残念。来たる臨時国会での成立を強く期待する」と述べています。

### 政権交代に向けて参議院選挙勝利

また、「安倍政権による国民不在の政権運営で、国民生活は一層の負担増を押しつけられ、国民の将来への不安はますます高まった」として、「7月の参議院選挙は、安倍自公政権にストップをかける大きなチャンスであり、何としても与野党逆転を実現させ、政権交代に向けて前進を図れるよう、連合は組織の総力を挙げて取り組みを展開する」と強い決意を示しました。